

厚生労働科学研究費補助金  
難治性疾患政策研究事業  
分担研究報告書

強度近視性脈絡膜萎縮に関する調査研究

研究分担者	東京医科歯科大学・大学院医歯学総合研究科・教授 大野京子 九州大学・大学院医学研究院・教授 園田 康平 横浜市立大学・医学研究科・客員教授 柳 靖雄
研究協力者	京都大学・医学研究科・特定助教 三宅 正裕 大阪大学・大学院医学系研究科・寄附講座教授 川崎 良 鹿児島大学病院・感覚器センター眼科・助教 白澤 誠

研究要旨：研究要旨：近視性黄斑部新生血管は病的近視眼における中心視力障害の原因となる病変で、黄斑部萎縮と密接な関連があることが知られている。近視性黄斑部新生血管について、その特徴や予後について解析調査を行った。

A. 研究目的

病的近視で特に中心視力低下の原因となる近視性黄斑部新生血管について、その特徴や予後を検討する。

B. 研究方法

文献のレビューを行った。

(倫理面への配慮)

文献のレビューであり、個人情報には取り扱わない。

C. 研究結果

近視性の各種眼底病変の中で、近視性黄斑部新生血管が中心視力低下の原因として最も重要であり視力低下が進行的に進むことが確認された。

D. 考察

視力低下の原因は新生血管そのものに加えて黄斑部萎縮の形成、拡大が重要であると考えられる。

E. 結論

中心視力低下の主因である近視性黄斑部新生血管に対する治療のブラッシュアップが必要である。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし